学 校 案 内
募 集 要 項

AJS国際学園
AJS INTERNATIONAL ACADEMY

学校案内

こんにちは！ Hello! Xinh Chao AJS国際学園です。
これから本校のご案内を致します。

○設立の趣旨

現在、日本に興味を持ち、その経済発展の経緯、高度な技術、また世界の国々で高い評価を受けているサービスを生んだ文化や教育を学び、自国の発展に寄与しようとしている留学希望者は増加の一途を辿っています。日本企業のアジア進出、最近特に海外の若者の間で人気を博しているアニメ等を含む文化・風土・食・環境問題に対する取り組み等を、皆さんがここ日本で習得した日本語を使い、実践的に学べる環境を作ること、そして、皆さんの日本に対する興味、好奇心を更に導き出し、皆さん一人一人の個性を見極め、特に大学などの高等教育機関に進むもしくは希望の就職先につくことにより、将来の選択の幅を広げ、方向性をより確かなものにすることを本校の設立の趣旨とします。

○理念・目標

皆さんが、将来、日本、あるいは母国で、日本人とそして日本社会とより良く共生しながら、両国のために経済的且つ社会的に寄与するための唯一のコミュニケーションツールとなる日本語を実践的に指導すること、更に皆さんが、社会人としてその活躍の場、可能性を拡げ、同時に国際人として、真の共生を実現するために、より高度で総合的な教育を受けることができる大学進学、高等教育機関への一貫した進学指導及び就職を行うことを、本校の理念及び目標とします。

○特長

1. 徹底した学習及び進路指導

1）入学後すぐに一回目の進路指導をします。そして、継続的に行うことによりできるだけ早く一人一人の方向性を明確にして、具体的に取り組むことができるように指導します。また、必要に応じ、皆さんの保護者との3者面談を行い、将来に向けての具体的な計画、取り組み方を教師、そして保護者が共有できるようにします。

2）担任制を導入し、入学から卒業まで一貫した学習及び進路指導を行います。皆さん一人一人の個性と能力を見極め、長期的且つ継続的な指導を通し、得意分野を更に伸ばし、苦手な分野は、確実に克服できるように指導します。

3）受験時・進学時・就職時にかけては、特にきめ細かで丁寧な指導を行います。まず皆さん一人一人の希望、個性、そして能力に合致した進学先・就職先を決定します。そして進学先・就職先の特徴を捉え、合格に結びつく具体的な指導を行います。特に、論文の書き方、面接の練習は繰り返し行い、合格を確実なものにします。

4）日本語能力試験、日本留学試験の対策は、初中級より始めます。皆さんが対策の勉強に早く慣れ、無理なく段階を踏んで合格を目指して欲しいからです。余裕をもって取り組むことにより、モチベーションをより高め、単に対策の知識の取得だけではなく、対策の勉強からも皆さんが文化について、社会問題について様々なことに興味を持ち、考え方、意見を構築できるように指導します。

2. 充実したカリキュラム

私たちは進学に向けて長期的且つ継続的な積み重ね学習を行うことをカリキュラムの中心に置きます。初級から上級までレベル別に具体的な目標を設けてあります。この目標を具体化することにより、単に「わかる」日本語から「使える」日本語が習得可能となります。対策の授業も一過性のものではなく、対策の授業を通して皆さんが読む、書く、聞く、話す、の4つの機能を段階的に伸ばせるように工夫します。何よりも皆さんが日本語、日本人そして日本社会に興味と好奇心を持ち、自発的に学習を行い、確実に成果を手にし、卒業できるように指導を行います。

1　コース設定

・進学2年コース：日本語を180時間以上履修し、日本語能力試験N5程度以上の日本語能力がある者を対象とし、将来進学を目指すコース

・進学1年9か月コース：日本語を240時間以上履修し、日本語能力試験N4程度以上の日本語能力がある者を対象とし、将来進学を目指すコース

・進学1年6か月コース：日本語を300時間以上履修し、日本語能力試験N4程度以上の日本語能力がある者を対象とし、将来進学を目指すコース

2　授業時間

午前	9:00～9:45	午後	13:10～13:55

	9:50～10:35		14:00～14:45
	10:45～11:30		14:55～15:40
	11:35～12:20		15:45～16:30

3　各レベルの学習目標

初級Ⅰ・Ⅱ

・ひらがな、カタカナ、漢字の読み書きが正確にできる。
・挨拶など日常生活に必要な語彙、表現を身に付ける。
・日本語の基本的な文法構造を理解し、簡単な文を正確に作ることができる。
・簡単な言葉で書かれたある程度長い文章が理解できる。
・習得した文型を用い、実生活の中で必要な買い物や事務処理ができる。
・日本語の会話の基本的なパターンを学び、日本語でコミュニケーションがとれる。
・自分の伝えたいことが、既習の語彙、文法で表現できる。
・「日本語でできるようになったこと」を増やし、達成感を得る。

初中級

・N3レベルを中心とした学習項目を習得する。
・使う場面や言葉、文型意味、用法を意識し、場面に合った表現ができる。
・書き言葉などの固い言葉が混じったある程度長い文章が理解できるための、語彙力、文法力を養う。
・あるテーマに沿った会話を聞きとり、内容が理解できるように聴解力を養う。

中級Ⅰ・Ⅱ

・N2レベルを中心とした学習項目を習得する。
・より複雑な文法、表現を習得し、ある程度細かいことまで自分の意志、感情が表現できる。
・論理的な文章を書くための文章構築法の基礎を習得する。
・文化に関する、あるいは社会性、時事性のある文章が理解できるように、多読による読解力を高める。また、それらについて、自分の意見を述べることができる。
・日常生活に留まらず様々な場面での会話を聞いて理解できる。

上級Ⅰ・Ⅱ

・N2レベルの学習項目の定着を図りつつ、N1レベルの学習項目を習得する。
・様々な場面で使われているパターン化されていない日本語に対応できるように語彙力、読解力、聴解力、表現力を強化する。
・社会問題について情報を収集、分析し要点をまとめることができる。
・進学先や就職先に向けてレポートや論文の書き方、ディスカッション、ディベートの手法など、必要とされるスキルを身につける.他の人と交わる中でも柔軟性を持って対応できるだけの日本語力を身につける.

3. 行き届いたサポート体制

日本語が話せない入学当初でも、銀行の口座開設や各種事務手続きはもちろん、病気、事故などの不慮のトラブルに対しても、多国語対応可能なスタッフが責任を持って丁寧に皆さんを支援します。また自然災害に遭っても、迅速に対応できるように日頃から訓練、指導を行います。このように、校内，校外で皆さんが日々気持ち良く安全に過ごせるように私たちは皆さん一人一人をしっかりサポートします。

4. 地域の人々との交流活動の実施

私たちは、地域の人々との次のような交流活動を通し、日本の人たちの留学生に対する先入観や偏見を払拭し、同時に留学生たちも日本の人たちに対する理解を深め得るように継続的に交流活動を実施します。

1　国際交流パーティの実施
2　地域の清掃活動への参加
3　地域のお年寄りとの交流会の実施

4　地域の夏祭りなどイベントへの参加
5　地域のボランティア活動への参加

募集要項

願書受付期間

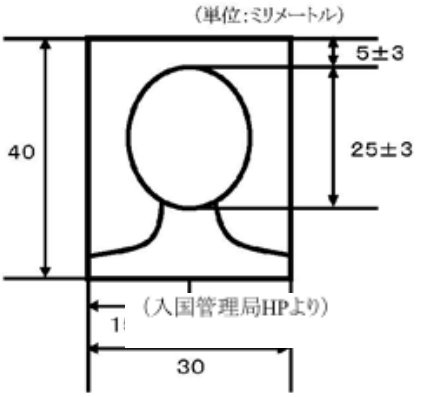
春期（各年4月入学）　9月初旬～10月初旬
秋期（各年10月入学）　3月中旬～4月下旬

出願資格

1. 12年以上の学校教育もしくは、それに準ずる課程を修了している者，又は修了する見込みのある者。
2. 年齢が18歳以上の者。
3. 信頼のおける財政保証兼身元保証人を有し、留学生活の係る一切の費用を支弁できる能力がある者。
4. 日本語を180時間以上履修し、日本語能力試験N5程度以上の日本語能力がある者。ただし、進学1年6ヶ月コースは300時間以上、日本語を履修し、N4レベル程度以上の日本語能力がある者。これまで日本の全ての在留資格に関して不交付履歴の無い者。
5. これまで家族を含め不法滞在歴が無い者。

出願書類

A.　入学願書（申請者本人署名）
B.　履歴書（申請者本人署名）
C.　留学理由書（申請者本人署名）
D.　写真
　※　証明写真を8枚添付してください。
　申請3ヶ月以内に撮影された上半身の無帽、
　無背景で鮮明なもの。
　縦4cm×横3cmのサイズでご提出下さい。
　詳細は右図のとおりとして下さい。



提出書類

指示があるもの以外のすべての証明書類は、コピーではなく原本を提出してください。
日本語以外で書かれた証明書には、それぞれ日本語訳を添付してください。翻訳者の氏名、
日付を日本語訳の下欄に記入してください。

◆各証明書
A. 学歴証明
1. 最終学歴卒業証書（原本）
2. 申請者が現在在学中の場合、在学中の学校から次の書類を発行してもらってください。
○在学証明書
○~~学業成績証明書~~
3.住民票
B. 日本語学習に関する証明
1. 日本語能力試験のいずれかの級に合格した場合は、証明書と成績証明の原本をご提出ください。もし不合格の場合は、成績証明原本をご提出ください。
2. 高校や大学で日本語を履修したことがあれば、その成績をご提出ください。
3. 日本語学校に通ったことがあれば、修了証明をご提出ください。
C. 在職証明（本人が在職中の場合）
◆経費支弁に関する証明

A.　経費支弁書(支弁者本人の署名)
B.　銀行預金残高証明書と預金通帳写し
C.　~~在職証明書（自営業の方は、店舗・事務所の写真(可能なら住所・電話番号の載った部分含む)）~~
D. ~~収入証明書(過去1年分)~~
E.　通帳の写し（過去1年分）あるいは資産形成書（どの様に預貯金の残高を形成したかの証明/過去1年分）

◆パスポートコピー

パスポートの白紙のページ以外はすべてコピーしてください。（所有している場合。日本入国の履歴がある場合は、履歴を示す部分全部）

◆その他

本校が必要と認めた書類
※　留学生ビザ取得のための在留資格認定証交付申請手続きは、法務省出入国在留管理局の定めにより日本語学校が行います。上記書類に入学選考料を添えてお申込みください。

◎入学までの流れ

	2年ｺｰｽ	1年6か月ｺｰｽ
学校説明会	8月中旬～9月中旬	3月中旬～4月中旬
入学願書等書類提出及び 選考料振込み	9月初旬～10月初旬	3月下旬～4月下旬
入学選考	願書受付後、書類審査、面接	
選考結果連絡	選考後10日以内	
最終書類準備	10月初旬～11月下旬	4月下旬～5月下旬
学校から出入国在留管理局に　在留資格認定申請	11月下旬	6月初旬
出入国在留管理局から 在留資格認定証明書交付	2月下旬	8月下旬
在留資格認定証明書写し 入学許可証写し、請求書送付（不交付者については、理由を説明）	2月下旬	8月下旬
学費等振込み	2月下旬～3月上旬	8月下旬～9月初旬
在留資格認定証明書 入学許可証送付	授業料等振込み確認後随時	
現地来日前説明会実施	3月上旬～3月中旬	9月初旬～9月中旬
学生居住国日本大使館 領事館にビザ申請	3月中旬～3月下旬	8月下旬～9月中旬
ビザ交付・航空券手配	3月中旬～3月下旬	9月中旬～9月下旬
入寮・役所手続き・ 銀行口座開設等	3月下旬～4月上旬	9月下旬～10月初旬
入学式・ガイダンス 授業開始	4月初旬	10月初旬

◎出願書類作成上の注意点

①出願書類は必ず申込者（願書、留学理由書等は学生本人、経費支弁書は支弁者本人）が記入すること。

②書類の記入は丁寧に記入し、黒のボールペン、万年筆を使用すること。黒以外の色は使用しないこと。修正する場合は、修正液を使わずに修正部分に二重線を引いて上から本人の印鑑を押し、正確な内容を横に書くこととする。

③提出書類については、発行後3か月以内のものとする。

④提出書類は、A4サイズとする。

⑤提出書類は、両面印刷はせず、片面印刷とする。

◎入学時期・定員等

	進学1年6か月コース	進学2年コース
定員	60人	60人
応募資格	海外において高等学校以上を卒業した者。 (修業年限12年以上もしくは、12年以上の修業年数と同等の学力を有する) 日本語を180時間以上履修し、日本語能力試験N5程度以上の日本語能力がある者。ただし、進学1年9か月コースは240時間以上、進学1年6ヶ月コースは300時間以上、日本語を履修し、N4レベル程度以上の日本語能力がある者。	
選考方法	書類審査・面接	
出願期間	3月中旬～5月末	9月初旬～10月初旬
入学時期	10月	4月
修業期間	1年6ヶ月間	2年間
在留資格	留学	

＊卒業時期は3月です。
＊学校がクラス分けを行います。

◎納付金

本校による書類選考及び入国管理局による在留資格の審査が修了し在留資格認定証明書が発行された場合、その旨を直接ご連絡します。
それにより、下表の納付金を払い込んでいただき、入金が確認でき次第、入学許可書及び在留資格認定証明書をお渡しいたします。

尚、振込は円で振り込んで下さい。振込手数料・為替手数料等は、振込み人負担です。

進学1年6か月コース（10月入学）

区分	入学時(1年目)	2年目	合計
選考料	¥20,000		¥20,000
入学金	¥50,000		¥50,000
授業料等	¥600,000	¥300,000	¥900,000
その他	¥90,000	¥45,000	¥135,000
合計	¥760,000	¥345,000	¥1,105,000

進学2年コース（4月入学）

区分	入学時(1年目)	2年目	合計
選考料	¥20,000		¥20,000
入学金	¥50,000		¥50,000
授業料等	¥600,000	¥600,000	¥1,200,000
その他	¥90,000	¥90,000	¥180,000
合計	¥760,000	¥690,0000	¥1,450,000

*上記金額は税別金額です。実際の納付金は上記金額に税率10%の金額を加えたものになります。(2023年度現在税率は10%、今後変更される場合があります)

※ 学費納入上の注意
・2回目の学費は新学期が始まる前に納入してください。具体的な納入時期は、その際通知します。
・既納の納入金については、理由の如何を問わず原則として返還しません。
・2年次以降の授業料について分割納入することができます。

※ 納入方法
在留資格認定証明書が出た後、1週間以内に1年目の学費と選考料を当校指定の銀行口座に振り込んでください。

◎納付金納入先

①BANK NAME： MUFG Bank, LTD.
②BRANCH NAME： KASHIWA BRANCH
③BANK ADDRESS： 1-2-5, KASHIWA, KASIWA-SHI, Chiba, Japan
④BANK PHONE NUMBER： 04-7166-1161
⑤ACCOUNT: ORDINARY
⑥ACCOUNT NO.: 454-0445056
⑦ACCOUT NAME: KABUSIKIGAISYA AJS
⑧ACCOUNT ADDRESS: 4-11-3 DAITA, ABIKO-SHI, CHIBA, JAPAN
⑨PHONE NO.: 04-7192-6604
⑩SWIFT CODE: BOTKJPJT
※送金者が本人ではない場合、入学許可証の番号か、本人の名前を備考欄に記入のこと。

◎入学辞退

①学費納付後に、ビザが下りなかった場合には、選考料と振込手続き費用以外の学費を返金します。振込みは円で行います。振込手数料は受取人負担となります。
②個人的な都合で、入学を辞退する場合は、直ちに本校に連絡し、入学辞退書にその理由を明記し、提出してください。選考料・入学金を除いた金額を30日以内に返金します。
振込手数料は、受取人負担となります。
③出願書類に虚偽の記入や改ざんが認められた場合は、学生が入学手続きを完了した場合でも、入学許可を取り消し、在留資格を失うこととなります。

◎その他

1. アルバイト

出入国在留管理局の許可を受ければ、学業に支障のない範囲で週28時間以内のアルバイトをすることが可能です。来日前にアルバイトの希望を伝えてください。入国時に必要な書類を渡します。

2. 国民健康保険

本校に入学した留学生は、全員加入します。この保険に加入すると、医療費の自己負担は30%ですみます。

※入学時のオリエンテーションの際、学校の規則及び学校内、学校外の生活において必要とされる知識、情報を詳しく説明します。